

2025年1月20日

共英製鋼株式会社

共英製鋼株式会社 ベトナム南部拠点が30周年を迎えました

このたび、共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）のグループ会社であるビナ・キョウエイ・スチール社（ベトナム バリア・ブンタウ省、代表取締役社長 福西英和、以下、VKS社）は、創立30周年を記念し、1月17日にホーチミン市内のホテルでレセプションを行いました。レセプションには、ご来賓としてご出席いただいた在ホーチミン日本国総領事館総領事 小野益央様や、長年ご愛顧いただいている販売代理店、建設会社、商社、銀行などの取引先をはじめ、多数の関係者の皆様を招き、約150名が出席しました。

レセプションでは、初めに当社会長の高島秀一郎より、1994年の創立以来、事業発展に尽力いただいた方々への感謝の言葉を申し述べました。次に、ご来賓の方々より祝辞を頂戴した後、長きに渡ってパートナーシップを築いてきた販売代理店へ感謝状を贈りました。続いて、当社社長の廣富靖以がベトナム語で乾杯の発声を行い、出席者は互いに懇親を深めました。その中で、創立当時に同社社長を務めた顧問の森光廣の挨拶、VKS社設立の立役者である当社名誉会長の高島成光によるビデオメッセージや同社の歴史を振り返るスライドショーの上映、永年勤続の従業員の表彰などが行われました。最後に、VKS社社長の福西英和がご出席の方々に改めて感謝の言葉を述べるとともに、VKS社の更なる発展を約束し、レセプションは終了しました。

当社は、ベトナム戦争終結前の1974年に南ベトナムにおいて鉄筋づくりの技術指導を行ったという経緯もあり、ドイモイ政策開始後、「日本の戦後復興と同様、戦後荒廃したベトナムの復興の力になりたい」という当時の当社社長 高島浩一の強い意志のもと、ベトナム初の日系鉄鋼メーカーとして、1994年1月にVKS社を設立しました。同社は1998年には通年黒字を達成し、現在に至る当社の海外事業の礎となりました。またVKS社は、個人住宅でも施主自身が使用する鉄筋メーカーを指定する文化があるベトナムにおいて、日本の技術による製品品質の高さをアピールするテレビCMを放映するなど、ブランドイメージを高め、現在に通じる「ビナ・キョウエイブランド」を作り上げました。

今回のレセプションは、これまでのVKS社の歩みを振り返り、取引先をはじめとした関係者の皆様に感謝を伝えるとともに、今後の更なる継続的・発展的な協力関係を構築する絶好の機会となりました。



会長の高島によるスピーチ



販売代理店への感謝状贈呈



社長の廣富によるスピーチ



顧問の森によるスピーチ



名誉会長の高島によるビデオメッセージ上映



永年勤続表彰を受けた従業員との記念撮影



VKS 社福西社長による挨拶